

平成28年度補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	花フェスタ2016旭川開催負担金										
補助金の性格	団体への補助(事業費補助)					始期	H6		終期	-	
予算事業名	緑化推進費					(事業コード 新/旧)	091106/071216				
所管部署	土木部		公園みどり課			管理緑化係	電話番号	内5565			
交付先(団体,個人等)	花フェスタ旭川実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	旭川市民をはじめとした道北圏域の人々									
	(意図) どういう状態にしたい	花や緑による美しいまちづくりに取り組む									
対象事業等の内容	花フェスタ旭川を開催するため,会場設営費及び展示物を作成しイベントを実施する。										
積算方法	対象経費の2分の1以内										
事業量指標と過去5年間の実績	① 入場者数					②					単位:
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	単位:
	132,000	128,000	134,000	140,000	113,000						
成果指標と過去5年間の実績	① 花いっぱい街づくりコンクール参加件数					② ぼくの,わたしのコンテナガーデン(H27は植木鉢アート)					単位:
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	単位:
	79	77	68	-	-	20	16	13	14	13	

2収支状況等

単位:千円

		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	627	253	160	321	188	
	市補助金	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
	市以外の負担金	3,890	3,400	3,400	3,400	3,400	
	協賛金	4,450	4,391	4,491	4,602	4,950	
	受益者負担金等	902	1,016	965	944	940	
	その他	67	88	67	68	22	
	収入合計	13,436	12,648	12,583	12,835	13,000	
	市補助率(%)	26.0%	27.7%	27.8%	27.3%	26.9%	
	支出合計	13,183	12,488	12,261	12,647	13,000	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越	253	160	321	188	0		
市負担額	一般財源	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		人工金額	2,938	2,935	2,950	2,873	2,849
	臨時・嘱託						
その他事務費							
合計	6,438	6,435	6,450	6,373	6,349		
受益対象者数	128,000	134,000	140,000	113,000	100,000		
補助金単位コスト(単位:円)	50	48	46	56	63		
適格性	◆会計処理が適正 ◆事業内容等と補助目的と整合性有 ◆決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当会計処理については,会計責任者のもと行われており,適正に処理されている。繰越金については,数年間継続して生じていることから,点検し必要な見直しを行う。						

※人件費(正職員分)は平成24年度7,344千円,平成25年度7,337千円,平成26年度7,374千円,平成27年度7,183千円,平成28年度7,122千円で計算すること。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目	評価
1 補助金 交付基準 との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考 基準 ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(4)見直し期間 ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程 (支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する 書類の添付 ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する (※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	◆ 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◆ 総合計画の重点施策の推進に寄与している ◆ 民営化, 自立化の余地がない ◇ 上記以外	■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	◇ 設定した事業量指標が上向いている ◇ 廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす ◆ 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◆ 厳しい財政状況の中, 他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である ◇ 上記以外	■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	◇ 設定した成果指標が上向いている ◇ 市民アンケート等, 客観的な評価を得ている ◇ 対象者が増加するなど, 時代のニーズを捉えている ◆ 費用対効果が大きい ◇ 上記以外	■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由, 及び「公益性」「効果」「必要性」において上記チェック項目以外で評価すべき項目があれば, 記載し説明すること。	

4平成24年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	花フェスタ2012旭川開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	道北最大の初夏のイベントによる経済効果、花によるまちづくりへの市民意識の高揚、市民協働の取組や地球温暖化防止の普及啓発の促進が図られるため、継続する必要がある。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	道北最大の初夏のイベントによる経済効果、花によるまちづくりへの市民意識の高揚、市民協働の取組や地球温暖化防止の普及啓発の促進が図られるため、継続する必要がある。
2次評価	継続	—

結果欄: 継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

平成28年度補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	街路灯設置補助金										
補助金の性格	事業費補助					始期	S36		終期	-	
予算事業名	人や街にやさしいあかり環境推進費					(事業コード 新/旧)	102109/044202				
所管部署	土木部		土木管理課			道路占用係	電話番号	内線5543			
交付先(団体,個人等)	街路灯を設置する団体										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	街路灯を設置する町内会等の団体									
	(意図) どういう状態にしたい	街路灯を設置する町内会等の団体の街路灯設置費用負担を軽減し,設置及び更新を適正に行う。									
対象事業等の内容	道路を照らす街路灯を設置する町内会等の団体に対し,予算の範囲内で補助を行う。										
積算方法	設置に要する費用の2分の1又は3分の1に相当する額(その額が別に定める額を超える場合は,その定める額)以内の額										
事業量指標と過去5年間の実績	① 補助金交付団体					②					単位:
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	単位:
	324	322	378	564	541						
成果指標と過去5年間の実績	① 補助金交付灯数					②					単位:
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	単位:
	1,987	994	969	2,085	3,338						

2 収支状況等

単位:千円

		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金	20,293	19,818	41,064	61,745	38,093	
	協議会負担						
	受益者負担	24,893	23,372	47,063	70,887	38,093	
	その他						
	収入合計	45,186	43,190	88,127	132,632	76,186	
	市補助率(%)	44.9%	45.9%	46.6%	46.6%	50.0%	
支出合計	うち食糧費,交際費	45,186	43,190	88,127	132,632	76,186	
	次年度繰越						
市負担額	一般財源	20,293	19,818	41,064	13,936	38,093	
	特定財源				47,809		
	人件費	正職員	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		人工金額	7,344	7,337	7,374	7,183	7,122
	臨時・嘱託						
その他事務費							
合計		27,637	27,155	48,438	68,928	45,215	
受益対象者数		349,332	347,756	345,917	345,917	343,728	
補助金単位コスト(単位:円)		79	78	140	199	132	
適格性	◆会計処理が適正 ◆事業内容等と補助目的と整合性有 ◇決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当補助金の交付申請書類や支出目的及び根拠は規則に基づいており,適正である。 町内会等の団体が設置する街路灯の工事費を,2分の1以内で補助しており,負担を軽減できている。						

※人件費(正職員分)は平成24年度7,344千円,平成25年度7,337千円,平成26年度7,374千円,平成27年度7,183千円,平成28年度7,122千円で計算すること。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目	評価
1 補助金 交付基準 との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考 基準 ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(4)見直し期間 ◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助、終期を設定 ◆ 終期末設定で、補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 ■ 同一団体、奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが、見直し設定していない □ 奨励目的補助だが、終期を設定していない
		(5)交付規程 (支出根拠) ◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外
	(6)支出を証する 書類の添付 ◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する (※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	◆ 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◇ 総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇ 民営化、自立化の余地がない ◇ 上記以外	■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	◇ 設定した事業量指標が上向いている ◆ 廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす ◇ 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◆ 厳しい財政状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である ◇ 上記以外	■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	◇ 設定した成果指標が上向いている ◇ 市民アンケート等、客観的な評価を得ている ◇ 対象者が増加するなど、時代のニーズを捉えている ◇ 費用対効果が大きい ◆ 上記以外	■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由、及び「公益性」「効果」「必要性」において上記チェック項目以外で評価すべき項目があれば、記載し説明すること。	

4平成24年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	街路灯設置補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	町内会等の負担を軽減することで、夜間の安全を確保して街路灯の適正な設置・更新を図る。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	町内会等の負担を軽減することで、夜間の安全を確保して街路灯の適正な設置・更新を図る。
2次評価	継続	補助率, 限度額については、現行の工事費水準に合わせて再考すること。

結果欄: 継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

平成28年度補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	街路灯維持補助金											
補助金の性格	事業費補助					始期	S49		終期	-		
予算事業名	人や街にやさしいあかり環境推進費					(事業コード 新/旧)	102109/044202					
所管部署	土木部		土木管理課			道路占用係	電話番号	内線 5543				
交付先(団体,個人等)	街路灯を維持管理し,電気料金を支払っている町内会等											
交付目的	(対象) 誰,何に対して	街路灯の電気料金を支払っている町内会等										
	(意図) どういう状態にしたい	街路灯に係る電気料金の負担軽減を図り,維持管理を適正に行う。										
対象事業等の内容	街路灯の電気料金を支払っている町内会等に対し,補助金を交付する。											
積算方法	街路灯の電気料金として,前年度1年間に支払った額の2分の1以内。											
事業量指標と過去5年間の実績	① 交付対象団体数					単位:団体	②					単位:
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27		
	992	995	994	996	993							
成果指標と過去5年間の実績	① 対象街路灯灯数					単位:灯	②					単位:
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27		
	28,828	29,144	28,890	29,002	28,863							

2 収支状況等

単位:千円

		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金	66,932	67,575	70,969	79,403	84,671	
	協議会負担						
	受益者負担	66,932	67,575	70,969	79,403	84,671	
	その他						
	収入合計	133,864	135,150	141,938	158,806	169,342	
	市補助率(%)	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
支出合計		133,864	135,150	141,938	158,806	169,342	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越							
市負担額	一般財源	66,932	67,575	70,969	79,403	84,671	
	特定財源						
	人件費	正職員	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		人工金額	7,344	7,337	7,374	7,183	7,122
	臨時・嘱託	619	613	609	633	631	
	その他事務費						
合計		74,895	75,525	78,952	87,219	92,424	
受益対象者数		349,332	347,756	345,917	345,917	343,728	
補助金単位コスト(単位:円)		214	217	228	252	269	
適格性	◆会計処理が適正 ◆事業内容等と補助目的と整合性有 ◇決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当補助金の交付申請書類や支出目的及び根拠は規則に基づいており,適正である。 町内会等の団体が維持管理している街路灯の電気料金を2分の1以内で補助しており,負担を軽減できている。						

※人件費(正職員分)は平成24年度7,344千円,平成25年度7,337千円,平成26年度7,374千円,平成27年度7,183千円,平成28年度7,122千円で計算すること。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目	評価	
1 補助金 交付基準 との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 ■ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2公益性	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◇ 総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇ 民営化, 自立化の余地がない ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない 	
3必要性	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 設定した事業量指標が上向いている ◆ 廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす ◇ 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◆ 厳しい財政状況の中, 他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない 	
4効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 設定した成果指標が上向いている ◇ 市民アンケート等, 客観的な評価を得ている ◇ 対象者が増加するなど, 時代のニーズを捉えている ◇ 費用対効果大きい ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない 	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由, 及び「公益性」「効果」「必要性」において上記チェック項目以外で評価すべき項目があれば, 記載し説明すること。		

4平成24年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	街路灯維持補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	町内会等の負担を軽減することで, 夜間の安全を確保して街路灯の適正な設置・更新を図る。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	町内会等の負担を軽減することで, 夜間の安全を確保して街路灯の適正な設置・更新を図る。
2次評価	継続	—

結果欄: 継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

平成28年度補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川市を緑にする会補助金										
補助金の性格	事業費補助					始期	S49		終期	-	
予算事業名	緑化推進費					(事業コード 新/旧)	091106/071216				
所管部署	土木部		公園みどり課			管理緑化係	電話番号	内5565			
交付先(団体,個人等)	旭川市を緑にする会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	家庭や事業所など市民を取り巻く環境を									
	(意図) どういう状態にしたい	緑豊かなものにする									
対象事業等の内容	1. みどりをつくる事業として ①都市緑化事業 ②市民花壇花株支援 ③緑化推進用緑のプレゼント 2. みどりを育て守る事業として ①緑の普及活動 ②緑の育樹事業 ③こどもの緑育事業										
積算方法	事業内容に応じた補助(予算の範囲内)										
事業量指標と過去5年間の実績	① 植樹本数等					② 花株支援の花株数					
	単位:本					単位:株					
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
	1,304	1,098	820	1,351	723	21,353	20,907	18,607	21,088	21,321	
成果指標と過去5年間の実績	① 市民参加数					② 花株支援の団体数					
	単位:人					単位:団体					
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
	240	524	347	530	337	30	30	30	48	45	

2 収支状況等

単位:千円

		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	収入内訳	前年度繰越	181	252	154	152	123
		市補助金	4,960	4,900	4,900	4,900	4,900
		団体助成金					200
		寄附金	684	660	636	625	650
		特別会計繰入	650	600	600	580	650
		その他					37
	収入合計		6,475	6,412	6,290	6,257	6,560
	市補助率(%)		76.6%	76.4%	77.9%	78.3%	74.7%
	支出合計		6,223	6,258	6,138	6,334	6,560
	うち食糧費, 交際費						
市負担額	次年度繰越		252	154	152	123	0
	一般財源		4,960	4,900	4,900	4,900	4,900
	特定財源						
	人件費	正職員	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		人工金額	2,203	2,201	2,212	2,155	2,137
		臨時・嘱託	1,185	1,185	1,185	1,185	1,185
その他事務費							
合計		8,348	8,286	8,297	8,240	8,222	
受益対象者数		349,332	349,188	347,335	343,728	343,728	
補助金単位コスト(単位:円)		24	24	24	24	24	
適格性		◆会計処理が適正 ◆事業内容等と補助目的と整合性有 ◆決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し, 妥当 会計処理については, 会計責任者のもと行われており, また, 総会時において, 監査から会計監査報告を受けていることから, 適正に処理されている。繰越金については, 継続して発生しているが, 年度当初(4月)の事業に充てていることから妥当である。					

※人件費(正職員分)は平成24年度7,344千円, 平成25年度7,337千円, 平成26年度7,374千円, 平成27年度7,183千円, 平成28年度7,122千円で計算すること。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目	評価
1 補助金 交付基準 との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間 ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
		(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外
	(6)支出を証する書類の添付 ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	◆ 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◇ 総合計画の重点施策の推進に寄与している ◆ 民営化, 自立化の余地がない ◇ 上記以外	■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	◆ 設定した事業量指標が上向いている ◇ 廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす ◆ 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◇ 厳しい財政状況の中, 他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である ◇ 上記以外	■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	◆ 設定した成果指標が上向いている ◇ 市民アンケート等, 客観的な評価を得ている ◆ 対象者が増加するなど, 時代のニーズを捉えている ◇ 費用対効果が大きい ◇ 上記以外	■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由, 及び「公益性」「効果」「必要性」において上記チェック項目以外で評価すべき項目があれば, 記載し説明すること。 ・受益者負担については, 実施事業が受益者負担を求めるものではない。 ・補助率について 当該団体の活動は民有地緑化や市民による緑化促進の一端を担っており, 市民との協働による街づくりが推進される中, その活動はますます必要とされている。補助金以外の収入は, 市内各企業からの寄附金や緑の募金繰入金によっている。景気が低迷している現状では, これ以上の寄附金を募ることは事実上困難と考えられる。平成27年度には北海道の交付金事業も活用しているが, 市からの交付額を旭川市補助金交付基準の交付額基準(参考基準:補助率2分の1以内)に沿ったものとする, これまでどおりの事業を実施することは不可能である。 このことから, 旭川市補助金交付基準第3の2(2)に掲げる参考基準にはなじまないのが現状である。	

4平成24年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川市を緑にする会補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	補助交付基準に基づく補助率に見直すこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成27年度	北海道の地域づくり総合交付金(地域づくり推進事業)の活用により, 市補助率を減少させた。

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	補助金の他寄附金等で運営し, 地域と一体となって緑化事業を推進しており, 今後も市と連携して事業推進する上で必要である。
2次評価	見直し	事業内容の精査や効率化, 他財源の確保等について見直すこと。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)